



ちがさきサポセン

Vol.63

NEWSLETTER

3月主催イベント

ものづくりや遊び、さまざまな体験を通して、わたしのまち“茅ヶ崎”を知るイベント

～こどもたいけん☆ワイワイまつり～

3月30日(土) 10:30～15:00

@茅ヶ崎市総合体育館1階&前庭

学ぼう

IoTプログラミング
手話、点字、防災クエスト
自然エネルギー、自分のからだ
ラオス、ネパール
湘南遺産

遊ぼう

ぷるぷる忍者
竹とんぼ、万華鏡
ゴムヘリコプター
わなげ、コマ回し
3Dぬりえ

体を動かそう

ラグビー
バスケットボール
フラダンス
手話ダンス
毛布 de 担架トライアル

地元有名店が多数出店 美味しいごはん

茅ヶ崎メンチ、ホットドッグ
ハワイアンフード、肉まん
揚げパン、おむすび
大豆唐揚げ、ポテト
チャイ、リンゴジュース

作ってみよう

木工・デジタル工作
羊毛クラフト
フラワーアレンジメント
アートペイント
ソーラークッカー
リップクリーム

動物ふれあい

介助犬・聴導犬育成デモ
わんにゃん里親会

作ってみよう

マジック
赤とんぼ音頭
音あそび、ウクレレ
綿菓子づくり
ふくらむ服

来て、
見て、
体験！



▶▶サポセン・サテライト

当日、相談コーナーを開設！ボランティアや市民活動の相談など、お気軽にお立ち寄りください。

▶▶運営ボランティア募集中！

一緒にまつりを盛りあげてくださる方、サポセンまで

3.11 メモリアル防災カフェ

～いつか来るその日のために、大災害をイメージしよう～

- ◆日時：3月10日(日)14:00～16:00
- ◆場所：ちがさきサポセン
- ◆内容：カードゲーム「クロスロード」で災害対応を体験、陸前高田市での復興支援活動から災害時の備えを知る、防災豆知識など
- ◆講師：内野 義生さん(防災スイッチオン！プロジェクト代表)、柿澤 良昭さん(市民自治推進課)
- ◆定員：30名
- ◆参加費：300円(茶菓代)
- ◆申込：2月15日(金)より受付開始、先着順

さらに使いやすく

機器類リニューアル！

印刷機(Duplo)、紙折り機、レーザープリンター、貸出パソコン(Windows10 搭載)が新しくなりました。ぜひ、ご利用ください！

使い方については、スタッフにお声かけください。



印刷機



パソコン



レーザープリンター

お問合せ・申込みは、サポセンまで TEL/FAX 0467-88-7546、E-mail:s-center@pluto.plala.or.jp

もっと知りたい！サポセンのこと

『市民活動応援プログラム』2018年11月～12月

報告

地域の居場所づくり交流会Ⅲ @茅ヶ崎

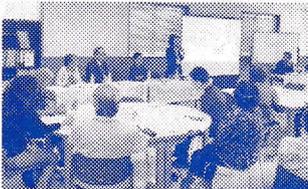


- 日 時：11/10(土)14:00～17:15 ●場 所：ちがさきサポセン ●参加者：30名
- 講 師：牧野 篤さん(東京大学大学院教育学研究科教授)
- 事例発表者：五味 真紀さん(カフェ「ハートフル・ポート」)、佐藤 和美さん(お茶の間さとう)、内田 勉さん(湘南アナログレコード館)、重田 扶美子さん(フリースペース ら・ぱれっと)

●第一部 事例発表 ～様々な居場所を知る～

居場所をつくった経緯、現状についてお話いただきました。▷五味さん(横浜市旭区)：自宅を改装し居場所としてカフェをオープン。地域の地域ケアプラザと連携し認知症カフェも始めた。▷佐藤さん(市内旭が丘)：地域の孤独な高齢者向けの集いの場を開催。▷内田さん(市内今宿)：趣味で集めていたアナログレコードを多くの方に楽しんでもらう場を提供。▷重田さん(市内十間坂)：フリースペースを開設し、若いお母さんたちが集い、お昼ご飯を食べながら、子育ての悩みなど情報交換の場に使ってもらう。

「地域に居場所があることで、人がつながり、人が出会い、新しい活動を生み出していく」「同じような活動が広がって欲しい」など、思いのこもったお話でした。



(※詳しい報告は、サポセンHPをご覧ください※)

●講演 牧野 篤さん(東京大学大学院教授)

統計をもとに少子高齢化の現状と課題についてお話しをされた後、最後に「これから大事なものは、好奇心と無形資産の価値(人間関係)である。社会を生き抜いていく力をつけるには、困ったことがあっても社会が助けられると思える『社会に対する信頼』が大切。それには、今日の事例発表にあったような『小さなコミュニティ』を地域に沢山つくるのが重要ではないか」と講演を締めくくられました。

●第二部 グループワークで交流

グループに分かれ、「事例発表・講演を聴いて感じた居場所づくりのコツ、大切なポイント」「居場所づくりをするなら、どのような『場』をつくりたいか」について情報交換しました。各グループ、ユニークなアイデアがたくさんでました。今回の交流会をきっかけに、新しい居場所が誕生することを願っています。

▶NPO 講座「心をつかむチラシデザイン2」 色使いのコツ、著作権・肖像権の基本を知る

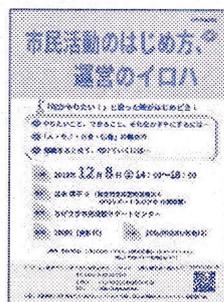


日 時：11/17(土)14:00～16:00
場 所：ちがさきサポセン
参加者：28名
講 師：大工原 潤さん
(認定 NPO 法人
さいたま NPO センター理事)

昨年度実施した「チラシデザイン講座」の第2弾

前回のおさらいから始まり、色づかいでは色彩と配色の重要性を解説。特に配色で気をつけることは「文字は明度に差をつけて見やすく」、「色相か彩度をできるだけそろえる」、「最重要な情報のみを、目立つ色で」の3つです。著作権では、著作物が問題になった事件を紹介、著作物を利用するにはどうしたら良いか、また自由に利用できる条件や Google Map の地図利用、写真のイラスト模写など気をつける必要があることなど説明がありました。肖像権では、場所や個人が特定できないように、スマホ写真の GPS 機能 OFF、子どもの写真では名前がわからないように、車のナンバー、家の表札の写真などに注意が必要とのこと。中身の濃い2時間でした。

▶NPO 講座 市民活動のはじめ方、運営のいろは



日 時：12/8(土)14:00～16:00
場 所：ちがさきサポセン
参加者：25名
講 師：益永 律子
(認定特定非営利活動法人
NPO サポートちがさき代表理事)

自分のやりたいと思った旬を逃さず実行へ

市民活動のはじめ方は、「なんとかしたい」と思ったときに一歩踏み出す勇気を持つこと。その一歩を少しずつ前に進めると賛同者や仲間も増え、活動が広がっていきます。団体は個人の集合体、それぞれの持ち味を尊重し、共通の目的を明文化し、意見を納得するまですり合わせること、長く続けるには無理のない組織、資金調達自主財源の拡充に取り組むことが必要など、現在活動中の団体にとっても初心に立ち返ることのできた内容でした。参加者からは、「体験談が大変参考になった」「前向きな気持ちになった」などの声がありました。

▶何かはじめたい方の思いをカタチにするお手伝いは、サポセンにてご相談を受付けています。お気軽にどうぞ。

▶よるカフェ

「歩いて楽しい茅ヶ崎のまちを ノルディックウォーキングで体感しよう！」



日 時：12/5(水)10:00~12:00
参加者：12名
協 力：(特非)アーバンデザイン
センター・茅ヶ崎(UDCC)/湘南茅
ヶ崎ノルディックウォーキング
(SCNW)同好会

茅ヶ崎の魅力を再発見

穏やかで暖かな陽気のなか、小出川沿いに向け、いざ出発！ポールを使った足腰に負担の少ない歩き方を湘南茅ヶ崎ノルディックウォーキング同好会メンバーの方に

ご指導いただき、要所所で立ち止まりながら、アーバンデザインセンター・茅ヶ崎より土地や風景の魅力、地域で活動している団体について解説していただきました。

民話「河童徳利」発祥の地、大曲橋のたもと(河童徳利ひろば建設予定地)から落書き防止のアートペイント、懐島山の碑を通り、鶴嶺公民館まで歩くなかで、「湘南タゲリ米生産地」では三翠会代表からタゲリ米や水辺に暮らす生きものの環境を守る活動についてお話をきくことができました。また、「花とともにくらす会」の河津桜、「小出川に親しむ会」の花の径、「NPO 法人萩桜会」の桜並木を眺め、「他の季節にまた訪れてみたい」との声もきかれ、この地域の良さを再認識できました。



茅ヶ崎で活躍中のNPOを追っかけレポート！

さぽちゃんが行く！

市との協働事業
実施団体 編

「Chigasaki Cat's Protect」(CCP)

2011年6月設立。会員2名、ボランティア8名で、市内の野良猫や保護された猫など、飼主のいない猫の問題に取り組み、人も猫も暮らしやすい茅ヶ崎を目指して活動しています。

《代表の武田さんとボランティアの方にお話を伺いました》

保護した仔猫から大きな活動へ

子どもの頃から身近に猫や犬のいる生活を送っていた代表の武田さん。4匹の仔猫を保護したことが活動を始めるきっかけです。当時(2010年)茅ヶ崎には野良猫や保護猫など、飼主不明の猫について活動している団体がありませんでした。担当課(当時は環境保全課。現在は保健所)に問合せすると、ぜひとも問題解決をしたいとのこと。すぐに活動の基盤作りが始まりました。

“地域力”の向上が問題の深刻化を防ぐ

現在の主な活動は、TNR活動(捕獲・不妊手術・元の場所に戻す)、飼主不明猫の保護、そして里親会です。動物に関する活動は「動物が好きだから」「可哀そうだから」という目線になりがちですが、CCPは設立当初から「糞尿被害にあっている住民の環境改善」を目指しています。協働事業であるTNR活動は、それを一番の目的に、保健所と月1回の定例会をしながら役割分担を決めて行っています。TNR活動によって、猫の数が増えることを防ぎ、尿の臭いが軽減され、また発情期の鳴き声もなくなります。猫の交通事故の激減も、TNR活動による効果が大きいです。(活動当初比で約300匹減)

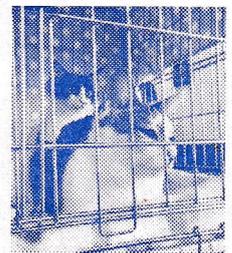
野良猫に関するトラブルの多くは近隣住民同士のコミュニケーションの問題も裏側にあると武田さんは言

います。いわゆる“地域力”のないエリアは、人間同士のつながりが希薄で、トラブルが深刻化しやすいのではないかとことです。地域のコミュニケーション力のアップが、野良猫数を減らし、暮らしやすい環境を整えるひとつの手段になり、また空き家や高齢者の独居、貧困に関する課題も、野良猫問題と結びつけて考えられるとのこと。野良猫問題は、人間社会が抱える課題と地続きで、そこを解決していこうとする力が、解決への近道になります。

人も猫も暮らしやすい茅ヶ崎へ

取材は毎月第3土曜日に開催している「保護猫たちの幸せ探し会」(里親会)。16匹の猫たちが新しい家族との縁を待っていました。活動を通して嬉しいことは「新しい家族のもと、幸せに生活している猫たちを見ること。保護した時、命に関わるような状態だった子が元気に私たちの元から卒業していくこと。また、TNR活動の現場を再訪した時にコロコロと太った猫たちに再会できること。」

今後の課題は、地域の方にTNR活動ができる仕組みや人材作りをしていくこと。私たち活動団体でなく、地域力で猫問題を解決ができるようになれば、と未来像を語っていただきました。



視察・研修受入／講師派遣

▶12/4~12/8 県職員1名、市職員1名 研修受入

「読売国際協力賞」受賞 おめでとうございます！
ルダシングワ真美さん

サポセン登録団体「ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト」の代表 ルダシングワ真美さん(茅ヶ崎市出身)が、国際協力活動で顕著な功績をあげた個人や団体を顕彰する「第25回読売国際協力賞」を受賞されました。

▶ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト

1996年にルワンダで障害者支援NGOを設立。ルワンダ政府から寄贈された土地に、義足製作所を開き、手足を失った人たち延べ8600人以上に義肢装具を無償で提供。また、「自分たちで稼げるようにならないければ“自立”にならない」と職業訓練校を創り、技術習得など就労支援に繋がる支援も始めた。現在は、雇用や活動資金を生み出すためゲストハウスとレストランも運営している。

パートナーのガテラさんと共に日本に帰国中、各地で報告会を開催。日程等詳細は、下記HPをご覧ください。
HP <http://www.onelove-project.info/>

知ることからはじめよう！
市職員による「市民まなび講座」



市の職員が出向いて行う無料の講座です。
7分野(社会生活/教育・育児/技術・学習/福祉・人権/自然・環境/文化・芸術/健康・スポーツ)をカバーし、市の制度やしくみ、暮らしに役立つ知識、文化、教養に関する様々なメニューがあります。

- ▶利用できる方：市内在住、在勤(在学)の方でおおむね10名以上の団体やグループ
- ▶派遣時間：9:00～21:00の間、1講座、原則2時間以内
- ▶会場：市内(申込者で用意)
- ▶申込方法：①講座内容、日時を講座担当課と調整
②内容・日時の調整後、利用希望日の**14日前迄**に申込書を文化生涯学習課へ提出
- ▶申込書配布場所：文化生涯学習課・各担当課・公民館
市HPからもダウンロード可能
- ▶問合せ先：文化生涯学習課 生涯学習担当
☎82-1111(代)

広報ちがさき(毎月15日号)
「市民の活動だより」掲載団体紹介(3月まで)

- ▶1/15号：フォーラムちがさき
- ▶2/15号：Homehome Home
- ▶3/15号：ちがさきサポセン「こどたん2019」

FM83.1 レディオ湘南
茅ヶ崎市広報番組「はまかせちがさき」

毎月第4木曜日 8:15～8:20(5分間)、市民活動のイベントなどが紹介されます。ぜひ視聴ください。
※1月は、第5木曜1/31(木)放送

2019年1月							2月							3月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	①	②	③	4	5	6					1	2	3					1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10
14	15	⑬	17	18	⑱	20	11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17
21	22	23	24	25	⑳	27	18	19	⑳	21	22	23	24	18	19	⑳	21	22	23	24
28	29	30	31				25	26	27	28				25	26	27	28	29	⑳	31
○休館日：1/1～1/3、1/16							○休館日：2/20							○休館日：3/20、3/30						
□館内利用制限日：フリースペース(大)							□館内利用制限日：フリースペース(大)							※3/30(土)こどたん開催につき臨時休館						
・1/19 NPO 講座(午後)														□館内利用制限日：フリースペース(大)						
・1/26 こどたん2019														・3/10 防災カフェ(午後)						
「場所&プログラム作戦会議」午前/午後																				

※主催イベント開催のため上記以外でもフリースペースのご利用を制限させて頂く場合があります。ご理解ご協力の程お願いいたします。

ちがさき市民活動サポートセンター

- ▶開館時間 9:30～21:30
- ▶休館日 毎月第3水曜日、年末年始(12/28～1/3)
- ▶アクセス JR 茅ヶ崎駅北口より徒歩10分程度・駐車場14台・障がい者用駐車場1台・駐輪場あり
- ▶連絡先 〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎3-2-7 TEL/FAX：0467-88-7546
ちがさきサポセン 検索 E-mail：s-center@pluto.plala.or.jp
- ▶指定管理者 認定特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき(指定管理期間：2017年4月1日～2021年3月31日)

サポセンキャラクター
「さぼちゃん」

